

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
京成盃グランドマイルズ	2018/6/20	SIII	船橋	1600m	ミドルペース	重	能力比較

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	キングガンズラング	牡4	56	石崎駿	ストリートセンス	ミスプロ系	バブルガムフェロー	サンデー系	B	C	B	C	B	C	△3	
2	2	ムサシキングオー	牡9	56	本田	キングヘイロー	ノーザン系	ラストタイクーン	ノーザン系	B	B	B	B	B	B	▲	
3	3	ウェイトアンドシー	セ7	56	今野	オレハマッテルゼ	サンデー系	エプロス	ミスプロ系	A	C	A	B	B	B	○	
4	4	インフォーマー	牡7	56	張田	タイムパラドックス	ロベルト系	ナグルスキー	ノーザン系	D	C	B	C	C	C		
5	5	セイスコーピオン	牡8	56	森	デュランタル	サンデー系	アジュディケーティング	ノーザン系	B	A	B	C	B	B	△1	
6	6	リアライズリンクス	牡8	56	左海	ダイタクリーヴァ	サンデー系	マイネルラブ	ミスプロ系	B	B	B	C	B	C		
7	7	タイムズアロー	牡10	56	笹川	タイムパラドックス	ロベルト系	サンデーサイレンス	サンデー系	D	B	C	C	C	C		
8	8	オメガヴェンデッタ	セ7	56	真島	ゼンノロブロイ	サンデー系	ホホワイトマズル	ノーザン系	A	B	B	B	B	B	◎	
	9	トロヴァオ	牡5	56	御神本	カネヒキリ	サンデー系	Cox's Ridge	ターントウ系	A	A	C	C	B	B	△2	

隊列図	見解	ラップタイム
ウェイ リアラ ムサシ オメガ セイコ タイム インフ トロヴ キング  ミドルペース	<p>今年の京成盃グランドマイルズのポイントは2つ。1つは、出走馬9頭中6頭が走っている川崎マイルズの結果をどう見るか。そしてもう1つは川崎マイルズの前日に同条件を走っていたキングガンズラングがどこまで走れるかだろう。前日オッズや新聞の印を見ると、キングガンズラングは川崎マイルズ組を抑えて1番人気に推されそう。果たしてここでも連勝を伸ばすことができるのだろうか。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命は<b>オメガヴェンデッタ</b>が重賞初制覇を成し遂げる。川崎マイルズでは逃げるウェイトアンドシーを捕らえ切れずの敗戦も、勝ち馬が斤量55キロに対し、本馬は斤量57キロ。今回は2頭が56キロの同斤量なので、着順は入れ替わる可能性が高そう。斤量面だけではなく、調教の動きは前走以上に良化しており、叩き3走目での上積みもあるのではないかと。ゼンノロブロイ産駒は先週のユニコーンステークスのグリムではないが、スムーズに運べてこそ力を発揮するタイプが多く、本馬もまさにそのイメージ。9頭立ての外枠なら能力をフルに発揮できるだろう。(以下省略)</p>	<p>ラップタイム</p> <p>回顧</p> <p>次走狙い馬</p>

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	キングガンズラング	△3	報知新聞皐月杯と川崎マイルズのラップと走破時計を比較すると、どう考えても川崎マイルズ>報知新聞皐月杯と判断して良さそう。レースぶりを見てもマイルのスピード勝負は本質的に不向き。		
2	2	ムサシキングオー	▲	川崎マイルズでは逃げるウエイトアンドシー、好位追走のオメガヴェンデッタを追いかけながら3着に粘り込んでおり、中身の濃い内容。今回、オメガヴェンデッタ、ウエイトアンドシーに重い印を打つのであれば、本馬も上位評価すべきだろう。		
3	3	ウエイトアンドシー	○	川崎マイルズは前後半の800mが49.1-52.2と明らかな前傾ラップ。逃げ、先行勢には苦しい流れを逃げ切っており、時計や着差以上に評価していい。今回は川崎マイルズとほとんど似たようなメンバー構成。前走の流れ、メンバーで押し切れたのであれば、引き続き逃げ粘る可能性が高い。		
4	4	インフォーマー		川崎マイルズでは勝ち馬ウエイトアンドシーから1.8秒差の6着に敗退。今回は当時の1~4着馬がそろって出走しており、馬券圏内に好走するのは引き続き難しいだろう。		
5	5	セイスコーピオン	△1	休み明けの川崎マイルズで勝ち馬ウエイトアンドシーから1.1秒差。今回は叩き2走目、斤量2キロ減なので、当時の着差は詰まると考えるのが自然だろう。本質的に川崎や船橋の1600mは忙しいが、鞍上がなんといっても森騎手。鞍上の手腕で馬自身のコース適性の低さをカバーしてしまうかもしれない。		
6	6	リアライズリンクス		昨年の京成盃ランドマイルズ勝ち馬も、今年は昨年以上に相手がそろった。半年近い休み明けも常識的に割り引きだろう。		
7	7	タイムズアロー		川崎マイルズでは逃げるウエイトアンドシー、好位追走のオメガヴェンデッタを早めに追いかけるも、3コーナー手前で手応えが一杯になって失速。近走成績からさすがに衰えが隠せないか。		
8	8	オメガヴェンデッタ	◎	川崎マイルズでは逃げるウエイトアンドシーを捕らえ切れずの敗戦も、勝ち馬が斤量55キロに対し、本馬は斤量57キロ。今回は2頭が56キロの同斤量なので、着順は入れ替わる可能性が高そう。斤量面だけでなく、調教の動きは前走以上に良化しており、叩き3走目での上積みもあるのではないか。		
	9	トロヴァオ	△2	トロヴァオは5走前のムーンライトカップではムサシキングオーに完勝しており、能力だけならオメガヴェンデッタ、ウエイトアンドシーとも差はないはず。問題は枠順。内で脚を溜めてこそこのタイプなので、大外枠だと内にもぐり込めるかがカギになる。		